

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------|-----------------|-----|----|-----------------------------|------|------|------|
| 350018 | X-21-B-3-350018 | 2 | 後期 | 【1年次生】国際学部国際文化学科 | 専門 | 選択 | 1年 |
| | | | | 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース | 専門 | 選択 | 1年 |
| 授業科目 | 担当教員 | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 | 専門 | 選択 | 1年 |
| | | | | 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | 専門 | 選択 | 1年 |
| 地域統合論 | 臼井 陽一郎 | | | 【1年次生】経営情報学部経営学科 | × | × | × |
| | | | | 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | | | 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × |

授業目的

(1) 地域統合の概念について理解を深めるため、関連概念(地域主義、地域協力、地域共同体、国際組織、連邦主義、レジーム、ガバナンス、ヘゲモニーなど)の学習を進める。(2) 地域統合の理論について、経済学・政治学・社会学の各方面から例示的に幅広く学習する。(3) 東アジア地域主義の歴史と現状を概括的に把握したうえで、この地域の国際政治の基本構造について習熟する。なお、この授業は、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつになる。

また以下の内容・順序は、当該年度学期に展開する新たな政治状況のありように応じて、変更することがある。最新の動向を紹介することを優先したい。

各回毎の授業内容

| | |
|--|---|
| 第1回 【授】世界の地域主義 【前・後】アフリカ連合やメルコスル、湾岸協力会議や上海協力機構、そしてAPECやASEANプラス、東アジア首脳会議(サミット)といった用語をインターネットで引いて、自分なりのイメージ作りを進めておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第9回 【授】政治学のアプローチ(2) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第2回 【授】地域主義の歴史 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第10回 【授】政治学のアプローチ(3) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第3回 【授】地域主義の基本概念(1) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第11回 【授】政治学のアプローチ(4) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第4回 【授】地域主義の基本概念(2) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第12回 【授】社会学のアプローチ(1) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第5回 【授】経済学のアプローチ(1) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第13回 【授】社会学のアプローチ(2) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第6回 【授】経済学のアプローチ(2) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第14回 【授】東アジアの地域主義(1) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第7回 【授】経済学のアプローチ(3) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第15回 【授】東アジアの地域主義(2) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 |
| 第8回 【授】政治学のアプローチ(1) 【前・後】前回のノートを見返し、授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習 | 第16回 【授】学期末レポート提出 【前・後】授業中に指示した論題のレポートを仕上げ、持参すること。 |

成績評価方法

| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 強調・指導力 | 発表・表現 | その他 | 評価割合(%) |
|--------------|-------|-------|-------|--------|-------|-----|---------|
| 定期試験 | | | | | | | 50 |
| 小テスト・授業内レポート | | | | | | | 50 |
| 宿題・授業外レポート | | | | | | | |
| 授業態度・授業への参加 | | | | | | | |
| 成果発表(口頭・実技) | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | |

学期末レポート50%・毎回のコメントカード50%

なお、ポータルや掲示板を通じて、最優秀レポートを公表し、全体の出来具合について講評する。

教科書参考書

授業中に適宜指示する。

受講に当たっての留意事項

関連科目に国際政治学・国際法・国際組織論・EU論・現代ヨーロッパ論がある。事前にもしくは平行して受講するようにしてほしい。なお、毎回コメントカードを書いてもらう。その日の授業のまとめを記し、感想や疑問を述べるという形式にしたい。

学習到達目標

(1) 国際政治の現状を地域主義の展開という視点から考察し、認識できるようになること。(2) 経済学・政治学・社会学それぞれの地域統合理論を相互の関係性という視点から考察しようとする意識をもつようになること。(3) 東アジア地域主義の今後の動きについて、自分自身でフォローしていけるようになること。(4) 東アジア国際政治の来し方・行く末について、自分なりの見方を組み立てられるようになること。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習